

# 2004年 新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひいたします。



福井 博一

勤務先 岐阜大学農学部園芸植物生産学研究室

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 Tel 058-293-2892

今年は「申年」です。サルは人間と最も近い動物といわれており、世界中の動物園ではサルが人気者です。左の写真は「天才」チンパンジーのアイとアユムです。そして、オラウータンとマントヒヒの哲学的な顔を見ていると、もう少し自分自身に自信を持って行動しないとイケない気持ちに駆り立てられます。



サルは集団で生活することが多く、山林開発の影響を受けて里山から田畑に下りてきて、園芸農産物に大きな害をもたらします。物事には因果があり、片方の価値観ではなく、公正に物事を判断することの難しさを感じます。



最近の雑務の忙しさを考える度に、孫悟空の『分身の術』をうらやましく思います。こんなに簡単に分身を作れたら、もっと充実した仕事ができるのに…(仕事中毒が全身に回ってきています)。本当は、「ゆとりのある生活ができるのに」と思いたい…。



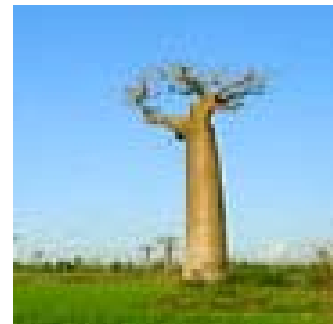
曹洞宗コミックより



三蔵法師を護るために、孫悟空は一所懸命働いています。しかし、その三蔵法師は孫悟空の行動が気に入らないと、呪文を唱えて、頭につけた緊箍(きんこ)を締め付けて苦しめ、三蔵法師の言いつけ通りの行動をするように仕向けます。アレッ！この話って西遊記だけの話ですか？ 文科省と大学の関係も…？ どの世界も一緒なんですねえ…。



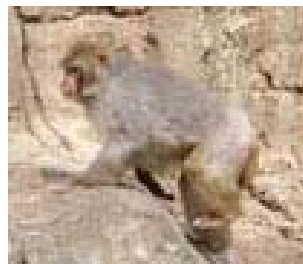
マダガスカル島はアフリカ大陸から 6 千万年前に分離した結果、そこに住む動植物は独自の進化を遂げたと言われています。ワオキツネザルや童謡で有名なアイアイもマダガスカル産で、「原始のサル」と言われています。ちなみに、星の王子様で有名なバオバブもマダガスカル産です。



隔離されたところで生活していると、次第に独自の進化(退化?)をとげ、常識では考えられない状況に陥るのかもしれませんが、『象牙の塔』などといわれる隔離された社会の常識は非常識？



組織をまとめるためには、サルの社会も人間の社会も、『ボス』の存在が不可欠です。周りから信頼されて、責任を持った行動ができる中心人物です。昨年は、学部長補佐として色々ボスを支える仕事をしてきましたが、次期ボスは誰でしょうか…？



何はともあれ、今年も変革を継続して進めていく必要があることは間違いありません。より良き夢を求めて、前向きに歩いて行きましょう。ある程度の年を経てきましたので、年相応の健康管理にも気を付けましょう。皆様にとっても今年が良き年となりますことをお祈りいたします。